

議会活動
報告だより

Vol.27

沖縄県議会
議員

まっすぐ真剣に政治に挑む!

當間モリオ

身を切る改革、維新だからできる。



腐敗した政治を浄化し、保革ではない新しい政治へ

第14回沖縄県議会議員選挙が6月7日告示、6月16日投開票日で行われます。

當間モリオも皆さまからのご支援を頂けるように全力で選挙戦に挑みます。

来年で戦後80年、先代が築き上げた知恵泉を我々は生かしているのか。

昨今の政治とお金の問題で、腐敗した政治に国民、県民の怒りは増すばかりです。腐敗した政治を浄化し、今こそ政治が身を切る大改革を行わなければ日本は衰退します。

ウクライナ侵攻、中東情勢の緊迫化、円安等での電気料金、水道料金、ガソリンの値上げや食料品など物価高騰は県民生活を困窮させています。また、畜産農家においても飼料等高騰が経営を圧迫し廃業が懸念されています。

一方で沖縄の観光は好調です。宮古、八重山では観光客増加でミニバブル状態です。次は持続可能な観光で久米島や周辺離島が注目される地域になります。テーマパーク「ジャングリア」は北部を活性化するだけでなく沖縄の観光に変化を与える事に期待します。

私達は変わらなければなりません。振興策も国依存のザル経済から一国二制度の特別道州制を勝ち取りましょう。基地問題でも反対だけでなく沖縄が活性化するための提言をして安全保障は全国で担う取組みを行います。

當間モリオは、琉球・沖縄がもつ歴史的、文化的な独自性の誇りを持ち、県民に寄り添う姿勢で山積する諸課題にこれからも全力で取り組んで参ります。

當間盛夫 プロフィール

昭和35年9月7日 那覇市小禄生まれ
昭和54年3月 豊見城高等学校卒業
昭和58年3月 阪南大学卒業
昭和58年4月 小禄農業協同組合就職
平成13年7月 那覇市議会議員初当選
平成16年6月 沖縄県議会議員初当選
令和2年6月 五期目当選

- 議会運営委員会 委員長
- 総務企画委員会
- 米軍基地関係特別委員会

沖縄県議会議員選挙

令和6年6月16日(日)投開票

那覇市・南部離島選挙区

那覇市、久米島町、渡嘉敷村、座間味村、
粟国村、渡名喜村、北大東村、南大東村

小禄事務所

〒901-0152
那覇市小禄390番地 1F

TEL.098-840-1060
FAX.098-859-2080

✉ moriotoma.1@gmail.com
http://www.tomamorio.com

ホームページ
はコチラ



未来を担う子ども達のために、私たちは挑戦する!

少子化対策や人口減少を改善する為にも教育費等無償化は最重要政策です。県民所得が最下位、貧困世帯の拡大する沖縄だからこそ教育格差をなくさなければなりません。予算は国依存ではなく、議員の報酬削減や定数削減を行う政治の覚悟が必要です。

沖縄が担う米軍基地や自衛隊施設の安全保障環境で日本経済は発展しました。

政権与党は台湾有事を煽り日米同盟強化で防衛費は増額し、肝心の沖縄の声は聞かず、寄り添うこともない。これでは県民の反感は増すばかりです。

辺野古では軟弱地盤工事(莫大な予算)の検証、見直しが必要です。我々が提言した馬毛島での新設する自衛隊施設を活用した米軍の訓練を移転。自衛隊施設は米軍専用施設との共有化で整理統合を行う取組みが重要です。

沖縄の観光や経済の活性化、県民生活向上の観点からもバス、タクシーの公共交通機関の強化が必要です。将来的に鉄軌道導入、今やるべき事はタクシー乗務員不足対策、ライドシェア問題や本島路線バスの統合で県が管理し民間事業者に委託する体制

を構築する事で運賃低減、効率的な運行体制、路線拡充など県の最重要政策として実現し、交通渋滞の緩和を図る事が重要です。

離島県沖縄だからこそ災害に強い対策を構築しなければなりません。那覇市内の低地での津波対策は公共民間施設の高層化が必要です。高台に逃げるのではなく、上の階に避難する事が命を守る事になります。県独自の備蓄対策強化、避難所の衛生環境整備強化の取組みが重要です。

島々の振興なくして沖縄の振興なしを本気度をもって取組みます。ICT活用での教育環境を構築し、島に居ながら県内の大学等を活用した高校課程通信教育で教育格差の解消と人材育成に取組みます。交通・生活コストの軽減、再生エネルギーの地産地消を実現、島独自の災害備蓄対策を構築し安全安心に暮らせる対策が必要です。

當間 盛夫

「身を切る改革」と「規制緩和」

- 物価高騰での電気・水道・ガソリン値上げ対策支援
- 議員報酬20%、議員定数の削減
- 天下り、知事・首長の退職金廃止
- 公共事業に民間資金活力の導入促進
- 沖縄型ライドシェア(休車タクシー活用)
- 路線バス統合で運賃低減
- 未利用農地、建ぺい率・容積率の緩和

行財政改革

将来世代への徹底投資

- 保育料・18歳迄の医療費無償化
- 私立高校・専修学校・大学授業料無償化
- 習い事支援、県代表遠征支援
- 国際性を育む英語の語学力育成推進
- 高校中退者の専修学校での学び直し



教育・貧困対策

安全保障は全国で担う

- 馬毛島自衛隊施設への訓練等の移転
- 米軍基地と自衛隊施設の共同使用で整理縮小
- 早期のヘリポート移設と軟弱地盤工事莫大な予算の検証
- 北部振興と鉄軌道の整備導入
- 食の安全保障は食料自給率の向上対策
- 島々における備蓄等災害対策強化、教育・定住促進

基地・災害問題